

様式第3号（第13条関係）

会議録

会議の名称	令和7年度 第2回朝霞市スポーツ推進審議会	
開催日時	令和8年2月13日（金）午後1時30分から午後2時30分	
開催場所	朝霞市立総合体育館 会議室	
出席者の職・氏名	・委員 副会長・渋谷昇、馬場典成、塩味光夫、奥山直希、椎橋成美、松尾哲、齋藤光司、高橋義正、野口邦彦、佐藤成美 ・事務局 生涯学習部長・奥山雄三郎、生涯学習部次長兼生涯学習・スポーツ課長・堀川政昭、課長補佐・高橋安希子、係長・秋山大輔、主事・奈良龍之介、主事・遠藤希海、主事補・臼田莉緒	
欠席者の職・氏名	会長・石原茂、鈴木静江、鈴木智子、田中誠、井上俊輝	
議題	（1）令和7年度スポーツ事業報告について （2）朝霞市スポーツ推進計画について （3）その他 ・朝霞市ロードレース大会の参加料の見直しについて ・「朝霞の教育」の配付について	
会議資料	（1）会議次第 （2）令和7年度生涯学習・スポーツ課スポーツ係事業報告 （3）第2期朝霞市スポーツ推進計画一部抜粋、アンケート調査結果 （4）朝霞市ロードレース大会の参加料の見直しについて （5）朝霞の教育	
会議録の作成方針	<input type="checkbox"/> 電磁的記録から文書に書き起こした全文記録	
	<input checked="" type="checkbox"/> 電磁的記録から文書に書き起こした要点記録	
	<input type="checkbox"/> 要点記録	
	<input type="checkbox"/> 電磁的記録での保管（保存年限 年）	
	電磁的記録から文書に書き起こした場合の当該電磁的記録の保存期間	<input checked="" type="checkbox"/> 会議録の確認後消去 <input type="checkbox"/> 会議録の確認後 か月
会議録の確認方法 議長による確認		
傍聴者の数	0人	
その他の必要事項		

審議内容（発言者、発言内容、審議経過、結論等）

○司会（高橋課長補佐）

審議会に入ります前に、本審議会は公開することとなっていますので、傍聴者の確認をさせていただきます。

○事務局

傍聴者はいません。

○司会（高橋課長補佐）

ただいまより「令和7年度第2回朝霞市スポーツ推進審議会」を始めさせていただきます。本日、司会進行を務めます生涯学習・スポーツ課の高橋と申します。よろしくお願いいたします。

本日は、「石原茂委員」、「鈴木静江委員」、「鈴木智子委員」、「田中誠委員」、「井上俊輝委員」は欠席となりますのでお知らせいたします。

これより議題に入りますが、本日の審議会の出席者は15名中10名となっており、定足数は、条例により過半数の出席となっておりますので、本審議会は成立していることを御報告いたします。また、本日の審議会の要点を記録した会議録は、朝霞市情報公開条例に基づき公開されますので、お知らせします。

議題の前に、資料の確認をいたします。

事前にお送りしている資料として

- ・次第
- ・資料1 令和7年度生涯学習・スポーツ課スポーツ係事業報告
- ・資料2 第2期朝霞市スポーツ推進計画一部抜粋、アンケート調査結果
- ・資料3 朝霞市ロードレース大会の参加料の見直しについて

本日、お配りしている資料として

- ・朝霞市スポーツ推進審議会委員名簿
- ・資料4 朝霞の教育

以上です。

皆様、お手元に資料はそろっていますでしょうか。

それでは、議事に入りたいと思います。議事の進行につきましては、会長にお願いするところがございますが、本日会長が御欠席でございます。朝霞市スポーツ推進審議会に関する条例に基づき、副会長が職務を代理することとしていますので、渋谷副会長に議長をお願いいたします。

○議長（渋谷副会長）

それでは、会長が本日所用により欠席ですので、代わりに議長を務めさせていただきます。よろしくお願いいたします。議事の進行に御協力をお願いします。

はじめに、議題（1）「令和7年度スポーツ事業報告」について、事務局から説明を求めます。

○事務局（秋山係長）

それでは、議題（1）「令和7年度 スポーツ事業報告」について御説明します。資料1を御覧ください。事業ごとに上から順に御説明します。

「第29回朝霞市民ウォークラリー大会」は、4月13日の日曜日に、朝霞第十小学校を基点に周辺約5kmのコースで、実施する予定でしたが、雨天のため中止となりました。

次に、「市民スポーツ教室」についてです。

「ボッチャ教室」を令和8年2月5日及び6日の午後6時30分から総合体育館で開催し、25人が参加しました。講師は朝霞市スポーツ推進連絡協議会に依頼いたしました。

次に、「小学生スポーツ教室」について御説明します。

「ミニテニス教室」は、7月29日から7月31日の3日間、午前9時から総合体育館で開催し、小学4年生から6年生の43人が参加しました。

「なぎなた教室」は、8月5日から8月7日の3日間で、午前9時から総合体育館で開催し、小学4年生から6年生の24人が参加しました。

どちらの教室も初めて経験する小学生が多くいましたが、講師の熱心な指導で徐々に上達していき、3日間を通してこどもたちの成長が見られる教室となりました。両事業を通して、こどもたちからは「仲間と協力して楽しくできた」、「講師の指導がわかりやすく、また参加したい」などの感想が寄せられ、高い評価を得られたものと考えております。ミニテニス教室の講師は朝霞市スポーツ推進委員連絡協議会、なぎなた教室は、なぎなた連盟へ講師を依頼いたしました。

次に「ビームライフル・ビームピストルスポーツ射撃体験会」ですが、8月23日の土曜日に総合体育館サブアリーナで実施し、118人の参加がありました。本イベントは、東京2020大会の射撃会場となった朝霞市で、市民が気軽に体験できるスポーツ射撃体験会を開催し、射撃の魅力を体感してもらうことで、スポーツ推進につなげることを目的としております。

普段、触れる機会の少ない競技ということもあり、事前募集の段階からほぼ定員までの申し込みがあり、当日も真剣に競技に取り組む様子が伺えるなど、市民の方が射撃競技に興味、関心を持っていることを感じられました。

次に、「溝沼子どもプール」についてです。

今年度は7月19日の土曜日から8月31日の日曜日までの44日間に渡って開場しました。午前の部と午後の部の完全入替制で実施し、大きな混乱や事故等もなく無事に閉場することができました。また、今年度の来場者数は36,701人と、市内外から多くの来場が見られたことから、プール施設の場の提供、スポーツ振興等の点において、一定の成果はあったものと考えています。今後も利用者が安心安全に御利用いただけるよう、利用者や委託業者からの意見を取り入れつつ、適切に開場してまいります。

続きまして、「第70回記念朝霞市民スポーツ大会」ですが、10月12日の日曜日に朝霞中央公園陸上競技場で開催しました。朝霞市スポーツ推進委員や朝霞市スポーツ協会を始め、多くの役員に御協力をいただきました。また、参加地区数は昨年と同様に11地区でしたが、昨年以上の多くの一般参加者を迎え、第70回の記念種目としてティラノサウルスレースを開催し、より賑やかな大会となりました。

併せて行われた市民スポーツ賞の表彰式では、華々しい功績を残した選手や、長きに渡り本市のスポーツの振興、発展に大いに寄与していただいた市民など、合計114人が表彰され、観客席からは拍手が送られていました。

続いて、「第64回朝霞市ロードレース大会」は、例年同様、11月23日の日曜日・祝日の勤労感謝の日に、小・中学生、親子ふれあい、一般男女、壮年などの17部門に分け、朝霞中央公園陸上競技場及び朝霞の森周辺で実施しました。一部種目では大会記録も更新され、参加者それぞれが、普段の練習の成果を十分に発揮できた大会になったと考えております。

また、招待選手としてコモディイイダの選手にも参加していただきました。招待選手のため、大会の順位には反映されませんでした。トップレベルの走りを披露していただいたほか、こどもたちを応援しながら一緒に走っていただくなど、大会を大いに盛り上げてくださりました。

次に学校体育施設開放事業について御説明します。

「学校体育施設開放事業」は、市内各小・中学校15校の協力の下、学校教育で使用しない時間帯に学校体育施設を市民のスポーツ団体への開放を行っており、学校ごとに貸し出し日、時間帯を定めて実施しています。

令和8年1月末時点での利用者数は175,876人となっており、昨年度とほぼ同様の数字となっております。

「陸上競技場個人無料開放事業」は、毎週火曜日と第2・4土曜日に、「総合体育館個人開放事業」は毎週火曜日と水曜日に実施しています。令和7年12月末時点での実績となりますが、陸上競技場個人無料開放では8,268人、総合体育館個人開放では7,246人の方が利用されています。開放事業につきましては、利用者の意見をいただきながら、よりよいものとなるよう、今後も継続して行っていく予定です。

令和7年度生涯学習・スポーツ課 スポーツ系の事業報告についての説明は、以上でございます。

○議長（渋谷副会長）

ありがとうございました。ただ今の説明について、御意見、御質問等ございますか。

無いようですので、次に議題（2）「朝霞市スポーツ推進計画」について事務局から説明を求めます。

○事務局（秋山係長）

それでは、議題（2）朝霞市スポーツ推進計画について説明いたします。

資料2を御覧ください。

こちらは、令和3年3月に策定された朝霞市スポーツ推進計画の一部と令和7年度に実施したスポーツに関するアンケートの調査結果の資料です。

本計画はスポーツ推進に関する総合的な計画として位置付けられており、「誰もがいつでもどこでも楽しめる生涯スポーツ社会の実現」を基本理念とし、市民・関係スポーツ団体・行政が一体となってスポーツの推進を目指して取り組んでいくこととされています。

計画の目標といたしましては、資料6ページの下にありますように、20歳以上の市民のうち、60%が週1回以上スポーツ行うことをめざして、スポーツの推進に取り組んでいるところです。

また、本計画は令和3年度から令和12年度までの10年間を計画期間とし、策定から5年を目途に取組内容の中間評価を行うこととされていることから、5年目であり、令和7年の5月にアンケート調査を実施しました。

アンケート調査結果についてですが、資料の7ページからを御覧ください。

目標の指標としている、スポーツ実施率については、14ページの間1-（3）どの程度運動・スポーツをしていますか？という問の回答から令和7年度時点では51.2%の結果となっております。

前回の48.4%から2.8ポイントの増加となっているものの目標値である60%に到達していないため、引き続きスポーツ実施率を高める取組が必要です。

次に、同じく14ページの間1-（2）「運動・スポーツをする理由」ですが、「健康・体力づくりのため」が81.1%と最も多く、前回調査と比較して5.9ポイントの増、

「運動不足を解消するため」は57.1%で前回比1.7ポイントの減、「スポーツを楽しむため」は27.3%で前回比2.9ポイントの減となり、上位3つの項目は、前回調査と同様の結果になりました。「健康・体力づくり」及び、「運動不足を解消するため」定期的に運動・スポーツを行っている方が多いことから、「健康・体力づくり」への関心の高さが伺えます。市民のスポーツ実施率は、国・県と比較して高くはありませんが、健康増進のために運動・スポーツをする市民が多いことは、スポーツを推進していくうえで重要な要素となります。

次に、16ページの間1-(7)「スポーツをしていない理由」についてですが、「仕事や育児等で忙しくて時間がない」が59.1%と最も多く、前回調査と比較して10.0ポイントの増、「運動するのが面倒、苦手だから」は21.6%で前回比0.6ポイントの増、「身近に運動をする場所がないから」は19.3%で前回比から13.3ポイントの増、「運動が好きではない・興味がないから」は19.3%で前回比から1.9ポイントの増となりました。

続いて、17ページの間1-(8)「今後条件がそろえば運動・スポーツをしたいですか?」という問には、62.5%が「してみたい」と答えていることから、運動・スポーツの必要性は理解しているものの、行動に移せていない状況が伺えます。仕事や家事、育児等で時間をとることが難しい人たちが、運動・スポーツのための時間を新たに捻出することは困難なため、仕事や育児の合間に軽い運動・スポーツを実施してもらうことが現実的と考えています。日常生活や職場内、公園や家などの身近な場所で簡単・気軽にできる体操やエクササイズを紹介し、スポーツやレクリエーション活動の機会を充実するほか、運動・スポーツに関心のない方に興味を持ってもらい、より多くの市民が生涯にわたって気軽に運動・スポーツを楽しめるよう、地域のスポーツ環境を整備する必要があります。

続いて、アンケートの集計結果より、24ページの間9「スポーツ施設について」の意見をもとに、現状と課題についてまとめた結果は次のとおりです。

・普段の運動やスポーツをしている場所は、公共スポーツ施設や公園・広場等、身近な場所で活動している方が多いことがわかります。また、自宅で活動している人が増え、外出しなくても運動やスポーツを行える環境が広がっていることがわかります。

・公共スポーツ施設は人気があり、多くの市民の方に御利用いただいておりますが、「施設を利用したくても、利用者が多くて利用できない」、「予約が取りにくい」という声が多く寄せられていることから、「施設全体数が少ない」、「施設が不足している」と感じている方が多いことがわかります。

続きまして、26ページの間10-(2)「公共スポーツ施設の使用料について」は、78.0%の方が「適当である」と回答されています。使用料は、民間のスポーツ施設より割安に設定しており、使用料収入だけでは適正な施設運営を継続していくことは難しいため、スポーツ実施率の向上につなげるためにも、施設の特性を活かした指定管理者の自主事業や、市民が参加したくなるスポーツイベント等の開催をして、施設運営費を確保する等の収益の改善を図っていく必要があります。

続きまして、29ページの間12「市スポーツ事業・イベントの参加状況」について、82.2%の方は「参加したことはない」と回答し、次の30ページの参加しなかった理由は、「内容を知らない」が43.7%、「イベントに魅力を感じない」が28.0%、「開催情報がない」が25.4%、「日程が合わない」が22.0%、の順になりました。

これまで広報、市ホームページ、エックス等のさまざまな情報発信ツールを活用して、市民へ市スポーツ事業・イベントの開催情報等の周知を図ってきましたが、アンケートの結果では、市スポーツ事業・イベントの「内容を知らない」、「開催情報が分からない」方が、69.1%にのぼることから、情報が十分に行き届いていないことがわかります。

市スポーツ事業・イベント等のスポーツに親しむきっかけづくりに加えて、情報を必要とする方に確実に届き、スポーツに対する関心や興味を持ってもらえるような情報を伝えていく必要があることから、伝える相手・ターゲットを見極めて、より多くの市民に情報が届けられるような効果的な周知方法の調査・研究に努めてまいります。

一方、30ページ問12-(1)の「市スポーツ事業・イベントに参加したことがある方」のうち、「楽しかった・満足だった」と回答された方が55.2%であることから、今後も楽しく参加ができるような事業を展開していくとともに、年代や各ライフスタイルに応じたニュースポーツの体験会やイベント等の開催を検討し、他市の取組状況や導入例等の調査・研究に努めていきます。

以上でございます。

○議長（渋谷副会長）

ありがとうございました。今のアンケートの結果を踏まえて御質問・御意見等ございましたらお願いします。

○塩味委員

朝霞市のスポーツ施策について29ページの問12（朝霞市では、「市民体育祭」を始め「ロードレース大会」「市民スポーツ教室」等のイベントを実施していますが、参加したことはありますか？）で「参加したことがある」17.8%、「参加したことがない」は、大幅に少ない状況ですが、参加した方については半分以上の方が楽しかったと答えています。参加しなかった理由について問12-(2)①「開催情報がないから」、②「内容を知らないから」とあり、これについてはPRが足りないからとっておりますが、これを打破するために何か事務局で考えはありますか。ここを打破すると、事業・イベントの参加者が増え、楽しかったという数字が上がると思います。

○事務局（秋山係長）

イベントの周知の方法に関してですが、最近では、小学校の保護者に向けて、tetoru配信を行ったりするなど過去には行っていなかったような周知方法を実施しており、その効果も少しずつ感じているところではあります。周知として大事なところはターゲットを決定し、そのターゲットの目に触れるような周知が必要だと考えています。今後も周知方法はアンテナを張って、新しい方法があれば前向きに検討してまいります。

○塩味委員

よろしく申し上げます。

○議長（渋谷副会長）

そちらに関してですが、「今後条件がそろえばスポーツをしたいですか」という質問がありまして、62.5%の人たちが「してみたい」と思っている状況です。市の計画の目標は、市民のスポーツ実施率を60%としていますから、アンケートだけみると達成可能だと思います。塩味委員の意見と繋がる場所もあると思いますので、スポーツをやってみたいという人にスポーツができるような仕掛けができれば恐らく計画の目標は達成可能なのではないかと思います。何かほかにございますか。

○高橋委員

アンケートの調査方法は前回と同様でしょうか。

○秋山係長

アンケートの調査方法は変更しております。市政モニターという市政情報課で実施している市民のモニターとして登録されている方を対象にアンケートを実施しています。前回と比べて回答の対象者は減ってはいるものの、一般的なアンケートとしてある程度正確な回答を拾うサンプル数は400人程度という目安がありますので、今回のモニターを対象としたアンケートの結果は、年齢層なども幅広い方に御協力いただいていることもあり、正確な数字が現れていると思っております。

○高橋委員

ありがとうございます。市の施設の整備など財政的な面もあると思いますので、市民からは、施設が中々近くにないという意見もありますが、施設については、民間などと連携をすることを検討してみたいかと思っております。

○事務局（堀川次長）

今の施設を維持・管理していくことは、老朽化をしている施設もある中、困難な面もあり、その中で新しい施設を建てることはなかなか実現が難しいところもありますが、今のような御意見については大事な視点だと思いますので、検討していきます。

○議長（渋谷委員）

ほかに御質問・御意見ございますか。無いようですので、議題（3）その他「朝霞市ロードレース大会の参加料の見直しについて」事務局から説明を求めます。

○事務局（遠藤主事）

それでは、議題（3）その他「朝霞市ロードレース大会の参加料の見直し」について説明いたします。

資料3を御覧ください。

現在のロードレース大会は、受付から参加者の記録の集計までスポーツ協会や加盟団体など多くの役員の方に御協力いただいております。特に大会運営の核となる参加者の記録計測から集計、表彰状の出力についても役員の方に担っていただいております。これまで参加者や大会役員より参加料のキャッシュレス化や競技記録の正確な計測、記録表の印字を円滑に行うために電子チップの導入を希望する意見が多くありました。これらの意見を踏まえ、来年度の第65回大会から参加料のキャッシュレス化、電子チップの導入にあたり、参加者の記録計測業務を業者に委託することにいたしました。これによって、参加者へのサービスの向上が図られることから参加料の見直しを検討しています。

まず、記録計測業務委託の導入によって、運営方法が1ページの表のとおりとなります。記録計測だけでなく申込みから参加費の事前支払いについても業者に委託をすることが可能です。参加者の申込みについては、本市以外のマラソン大会等も掲示されている専用のホームページに本市ロードレース大会の申込みフォームが掲載されます。マラソンを趣味としている方など多くの方が閲覧するサイトですので、これまで以上にロードレース大会の宣伝効果が見込めます。また、事前支払いとすることにより、キャッシュレス決済やコンビニ払いなど様々な支払方法に対応していますので、参加者の好みや都合に合わせた支払いが可能です。これまでは当日に受付スタッフに現金で参加料を支払う方法としておりましたが、この場合だと現金の管理をする必要がなく、受付の役員の負担軽減にもつながります。また、委託の内容によっては、ゼッケンを参加者の自宅に事前に送付することが可能です。タイムの計測についてですが、ゼッケンに電子チップが

添付されているため、正確な記録の計測ができ、すぐに結果がわかることで結果表の出力を円滑に行えるほか、参加者を長く待たせることなく表彰式の開催を行うことができます。このように電子チップの導入にあたって、参加者へのサービス内容の向上及び大会役員の負担軽減を図ることができます。

電子チップの導入による委託料は、参加者数にもよりますが、80万円程度かかる見込みです。経費の増額分を参加者に御負担いただくにあたり、検討している参加料は「2. 参加料について」のとおりとなります。

ふれあいの部は、1組2,000円、小・中学生は1人2,000円、高校生以上は1人2,000円と考えております。この参加料とは別に、事前支払いの手数料が220円～300円程度発生します。資料の裏面を御覧ください。

今回算出した参加料は、他市の状況を参考にし、増額となった委託料の一部を参加者に御負担いただくことを前提に算定しました。委託料を80万円と仮定し、前回大会と前々大会の参加者数の平均の約600人で割ると、1人当たり約1,300円の負担が必要となります。これに、現在の参加費500円を足すと1,800円となり、1人当たり約2,000円の参加料となります。ただし、小学1～3年生の児童とその保護者が出場するふれあいの部は走行距離を勘案し、1,000円とします。

今回お示しした試算については、過去の大会の参加状況等をベースに算定したものになります。「サービス内容と参加料のバランス」、また、「最終決定に当たって配慮する点」などございましたら皆様の忌憚ない御意見、御質問をいただければと存じます。

説明は以上でございます。

#### ○議長（渋谷委員）

ありがとうございました。ただいまの説明について御質問・御意見等ございましたらお願いします。

#### ○塩味委員

参加費について他市の参加料を見ると朝霞市の場合はふれあいの部以外は1人2,000円としていますが、私の個人的な意見としては、小学生・中学生については最高でも1,000円としてよいと思います。やはり、こどもですから親の負担になりますし、まだ案の段階とは思いますが、検討する中で小中学生の負担は減らすべきでないかと思います。それから、朝霞市の場合は高校生以上を2,000円としていますが、他市の場合は高校生と大人の料金を分けてる市もあります。高校生と大人を同一料金にするかは事務局で検討してもらえればと思います。料金について、高校生の2,000円はこのままでよいと考えますが、小学生・中学生を下げた分というわけではないですけれども、大人は最低3,000円でも問題ないと思います。他市を参考にすると和光市は4,000円、新座市は3,000円、ふじみ野市は2,500円としており、大人の料金は3,000円から4,000円でもよいのではないかと思います。個人的に、私は、大人の料金は3,000円が妥当だと感じます。

#### ○齋藤委員

塩味委員に賛同します。以前の審議会でも、ロードレース大会は小中学生の参加率が低いという意見がありました。これには様々な理由があるかと思いますが、小中学生のこどもたちの参加率を上げることは非常に重要なことかと思えます。そのために、少しでも親の負担を減らすことが大事なわけですが、参加料を高くしてしまうことはこどもたちの参加率向上に逆行してしまいます。参加料を無料にするというわけにはいき

ませんが、参加料は参加率の向上につながるため考慮していただきたいところです。しかし、委託料の補填については、事務局の案はもっともなことであり、参加者の記録の齟齬をなくすことや役員の負担軽減など前向きな理由による値上げであるため、こどもたちの参加料を安くする分、何か方法を考えることが大事かと思えます。

#### ○高橋委員

参加者の料金は他市と比べると朝霞市は非常に安く、そこが朝霞市の魅力だと思います。しかし、参加料を上げると朝霞市の周回コースなら参加しないという判断をする人が少なからずいると思います。参加者の中には、周回コースを嫌がる人が多くいますので。ただ、朝霞のロードレースは、一般の部の参加者数が多いと思いますので、上げ幅は皆様いろいろな意見がありました。こども達の参加料を下げても、一般の部の参加料を上げれば採算は取れると思います。ただ、大人の料金を上げすぎると、個人的にマラソンをやっている身として参加者数の減少が懸念されます。今回の第64回朝霞市ロードレース大会では「実業団のコモディイダの選手と走ることができて、この参加料なら最高です。」というような意見も伺いましたので、大人の上げ幅は検討していただければと思います。他市ではゼッケンを事前に送付してくれたりなどといった方法がありますが、今後、サービスの内容や参加賞の中身など、参加賞も事前送付するのかなど改めて検討していただければと思います。

#### ○事務局（堀川次長）

電子チップの導入・委託によって費用を上げる必要がある中で2,000円という基準的な数字が出たので、参加者の年齢層によって割り振りましたが、各委員がおっしゃったように、小・中学生の参加率がもともと低いということもあり、なるべく参加しやすいような方向で検討してまいりたいと思います。また、大人の上げ幅について、私もマラソン大会によく出ていますが、朝霞市のコースは周回ですので、3,000円は高いと思われる可能性があります。そちらの点についても考慮したいと思います。実業団のコモディイダさんのたくさんの選手に御協力いただいておりますが、大会の冠や協賛の話をいただいておりますので、コモディイダさんとの話を進めながら、参加料や参加賞など検討していきたいと思えます。

#### ○議長（渋谷副委員長）

参加料やいままでに無かったコモディイダさんとの取組などいろいろありますが、ほかに何かございますでしょうか。大会の参加者数が増えればさらによいかと思えますが、コースの内容の懸念はありますけれども、コモディイダさんの協力によって参加者は増える可能性はあるかもしれませんね。

#### ○高橋委員

料金ではないですが、ほかの大会を見ると朝霞市とは発走順が逆になっている大会がほとんどです。先に10kmの部を実施して、最後にふれあいのようなこども達の部が発走します。最後に、こども達の走りがあることによって、ほかの参加者が残り、大会が盛り上がると思います。役員として、受付をしてみて、発走の時間を間違える人がふれあいの部が多いと感じましたので、最後にしておいたほうがよいのではないかと考えます。また、10kmを先に実施すれば、交通整理の役員についても早めに解散ができるほか、規制についても早く解除ができるため、ほかの大会は長い距離を先にしているのではないかと思います。御検討をお願いします。

○事務局（堀川次長）

確かにほかの大会では長い距離を先に行っていることは多いですが、今までふれあいの部を先に行っていた何か理由があるかもしれませんので確認してみます。

○議長（渋谷委員）

参加料やプログラムの内容について様々な意見をいただいたかと思いますが、よりよい大会になればと思いますので、事務局の方で御検討をお願いします。

○塩味委員

今、議長がおっしゃった「事務局の方で検討」とありましたが、事務局とは何を指しますか。

○議長（渋谷委員）

提案した人々と考えています。

○塩味委員

今までスポーツ協会やスポーツ推進連絡協議会にロードレース大会の要綱について相談はなかったのですが、共有をしていただきたいと思います。朝霞市ロードレース大会は朝霞市教育委員会とスポーツ協会との共催であるため、スポーツ協会が何も知らないうちに大会要項が決まってしまうようにお願いします。私の立場は審議会委員ですが、スポーツ協会の役員でもあります。市民スポーツ大会は実行委員会制で行って、実行委員会の開催など順序立てて準備を行っていますが、ロードレース大会はいつの間にか始まっていると感じており、プログラムの変更や検討をするにあたって事務局がどこにあるのか不明瞭なため教えていただきたいです。

○事務局（奥山部長）

市民スポーツ大会は、実行委員会形式で様々な会議を経て進めておりますが、ロードレース大会の事務局は主に朝霞市生涯学習・スポーツ課がこれまでも担ってきたと思います。今回、変更したい点がありましたので審議会に提案させていただきましたが、実際に運営をいただいておりますのは、我々生涯学習・スポーツ課や各スポーツ団体、スポーツ推進委員の皆さんに御協力をいただきながら運営をしているという点もありますので、我々だけで決めるのではなく、事前に御意見をスポーツ協会や推進委員の皆さんにいただきながら進めていきたいと思っております。

○塩味委員

よろしくお願ひいたします。市民スポーツ大会については、順次、スポーツ協会の事務局でも準備を始めていますが、ロードレース大会はスケジュールが不明瞭な状況です。10月の市民スポーツ大会とロードレース大会の準備は並行して実施していけば円滑な準備ができるのではというような意見が以前ありました。スポーツ協会加盟団体に役員の派遣を依頼するにあたって、早めに実施できれば各団体も助かるので、一緒に実施するわけではありませんが、市民スポーツ大会とロードレース大会がある程度並行したやり方で行えればと思います。

○事務局（奥山部長）

今このような御意見をいただきましたので、来年度注意して進めてまいりたいと思っております。

○議長（渋谷副会長）

ほかに御意見ございますでしょうか。無いようですので、議題（3）その他の「朝霞の教育」の配布についてお願いします。

○事務局（遠藤主事）

それでは、議題（3）その他の「朝霞の教育」についてです。令和7年度版の「朝霞の教育」が刊行されましたので、本日皆様に配布させていただきました。後程で構いませんので参考として御覧いただけますと幸いです。

○議長（渋谷副会長）

こちらについて皆様から何かございますか。特にないようですので、以上で、本日の議題はすべて終了とさせていただきます。皆様の御協力に感謝を申し上げ、議長の任を解かせていただきます。

○司会（高橋課長補佐）

渋谷副会長、ありがとうございました。本日の会議録の承認については、後日、渋谷副会長にお願いいたします。以上を持ちまして、「令和7年度 第2回朝霞市スポーツ推進審議会」を終了いたします。皆様、ありがとうございました。